議会報告会　会場報告書

担当班：２班　　班代表者：　　向井　千尋

概要			
地区名　：雲部地区 日時　　：令和４年５月13日（金） 19：30～：21：30 場所　　：雲部公民館 参加人数：９人(男９人･女０人)	【出席議員】 向井千尋 大上和則 安井博幸 河南克典 森本富夫	（１）開会あいさつ　：向井千尋 （２）議会報告　　：安井博幸 （３）質疑応答　　：下記の通り （４）意見･提言等　：下記の通り （５）閉会あいさつ　：大上和則	挨拶･総括　　：向井千尋 司会進行　　：大上和則 報告　　：安井博幸 記録　　：河南克典 会場（マイク）　：森本富夫

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・議員定数について、全国的に削減している傾向にある中、調査研究の結果18名が妥当だと決定されたのは何故か。	・議員定数について調査しましたところ、3 委員会中心主義を採用しており、議員の多様性やしっかり審査を行うには最低18人は必要であるという結論に至りました。
・市内高校活性化について、中学3年生の子どもが進学を考えているところだが、市民会議の設置についてどのような方たちで構成されているのか。	・教育の専門家や地域の代表などで構成されています。市外の高校への進学が増えている中、市内高校が魅力を高めるために何が必要なのかを検討しています。高校の設置者は県

保護者の声を尊重してもらえる組織になっているのか。特に通学面の問題が多いので、交通の便を良くしてほしい。	なので主体的に取り組むことは難しいですが、市としても可能な範囲で充実した高校生活が出来るように支援をしていきます。バスは市内最大 200 円で利用できるように改正しましたし通学にも利用できます。頂いたご意見は担当部署にお繋ぎします。
・神姫バスにて朝、鳳鳴高校経由して産業高校へ、夕方は産高から鳳鳴へと運行している。現在は、3, 4 人が利用されているのでもう少し PR してもらえたら良い。	・持ち帰り共有していきます。
・里山工房くもべについて、コロナ禍でも助成金などを利用したことで令和 3 年度は黒字となったが、今後はレストラン事業だけでは厳しい。新しい事業計画や多くのお客さんを迎えるために、建物の老朽化による雨漏りや厨房の床や壁など施設基盤の修繕をしたいので、ご支援いただきたい。	・過疎債の活用なども考えながら活性化に努めて頂きたく、議会でも共有していきます。
・雲部地区でこれといった目玉施設がないので、里山工房をシンボルとして盛り上げていきたいので、ご支援頂きたい。人口減少がひどい、高齢人口が 50％である。農業の担い手がいない。移住のネックになっているのは何か。移住は進んでいない。	・雲部地区の高齢化は市内でも高い上、すべての集落で高齢化が進んでいます。頂いた声は市政に反映できるよう努めていきます。 ・移住については福住でおためし住宅のような方法を進めていますし、空き家の推進については市も推進員などを置いてすすめています。人口が減少しても元気で美しい村であることが大切なので、皆さんと共にがんばっていきたいと思います。
・再生計画委員会の名前を建設的で発展的な名前にしてもらいたい。未	・持ち帰り伝えます。

来のある明るい名前にしてもらいたい。	
・報告があっさりしすぎている。もう少し内容を詳しく教えてほしい。自治会長は選挙という名の押し付け合い。役員のなり手不足。自治会の統廃合が今後は必要、集落の終わり方も考えていく時期かと思う。	・ご意見ありがとうございます。